

緑豊かな自然の町、たちばなのお米

橘産 さがびより



平成28年8月29日発行

さがびより情報看板リニユアル設置

北部九州の夏は、酷暑続きです。毎日、毎日、人と会うたびに「あじかですね」が決まり言葉。でも、200日、やっと、まとまった雨が降り、まずは、ひと息ついた感じです。でも、全国的には、思いもよらないコースの台風だったりだったり、ラニーニャ現象に悩まされます。一百十日もまもなく、この後も、台風が心配な異常気象の夏です。



さて、さがびより情報看板も新たに、リニユアルしました。この看板は、JAさが管内の、各地区のモデル圃場に設置し、各地区のリアルタイムな情報を提供しています。橘地区においては、さがびより米スターの江頭さんの圃場に設置しており、現在の生育状況・栽培管理情報等を掲載しております。看板の大きさは、1m×85cmの大きさで、本格的な看板になっています。いよいよ最終コーナーを曲がりかけ、いよいよ、ラストスパートです。

梅雨明け後、干ばつ。生育はすこぶる順調！！

今年の生育状況は、収量に影響の大きい茎数も、目標本数は確保でき、梅雨明け後、好天が続いたことで、食味に影響の大きい葉色のさめも順調で、穂肥（穂の赤ちゃんが出る頃にやる肥料）もお盆前には終了し、生育はすこぶる順調です。昔から「干ばつに不作なし」と言われます。梅雨明け後、九州北部は、毎日35度以上の高温続きで、平均気温も、平年より2度ほど高かったことで、平年より生育は、4日程度早まり、現在ちょうど、出穂期（およそ半数の茎から穂がでる時期）です。また、今年は、平年より、もみ数が多いようです。出穂が早い分、収穫も早まりそうです。「体育の日」には収穫時期のピークになるんじゃないかと思えます。最高の穂の秋であることを期待しています。今年も現地での研修会を行いました。生産者の皆さんも笑顔です。「ハイチーズ」でいい写真がとれました。出来秋もにっこり笑顔になるといいですね。

